

経済・政策・法律



キーワード：アジアの都市環境問題、規制と対策技術、住民の環境意識と行動

アジア地域の経済開発に伴う都市環境問題とその対策に関する研究

経済学部 経済学科 准教授

村瀬 憲昭 MURASE Noriaki

研究の内容

経済成長が著しいアジア各国の都市では、産業の発展、人口増加や生活様式の変化により、河川・湖沼の水質悪化やごみの発生量が増加しています。しかし、多くの都市で生活環境改善のための対策の優先度は低く、至るところで不衛生な環境が見られます。また、ごみの不法投棄対策では、行政機関の取り組みだけでなく住民の意識や行動の変化も必要とされています。

このような状況を踏まえて、これまでインドネシアの地方都市で地域住民が主体的に行ってい
るごみ分別や有価物回収の活動実態を調べ、ごみの分別結果とそれに取り組む住民の意識や行動を調べた結果を比較分析し、住民が分別行動に参加する要因を明らかにしました。この研究成果は、ごみ分別・減量化対策の参考情報として、インドネシア政府関係者にも報告しました。

また、アジア各国の水質環境基準・排出基準とその遵守状況、各 government の規制の実施状況を調査しています。2021年度からは経済産業省近畿経済産業局の依頼を受けて、ベトナム南部のビンズオン省の産業排水・産業廃棄物に関する規制とその実施状況、適用可能な対策技術について調べ、ビンズオン省関係者などに助言しています。



バングラデシュ都市のごみ投棄場所



汚染が深刻なインドネシアの川



ベトナム地方環境局の水質観測室

産学連携・社会連携へのアピールポイント

アジア各国で環境ビジネスを展開するためには、各 government の環境規制制度とその運用状況、現地で使用されている技術をよく理解し、事業展開戦略を検討する必要があります。これまでに関わった国際環境協力事業での経験やアジア環境政策に関する調査研究結果に基づき、ベトナムやインドネシアなどアジア各国の環境規制制度とその運用状況、また近年注目されているカーボンニュートラルや循環経済に関する政策について情報提供することができます。

研究者総覧（村瀬 憲昭）

URL : https://gyoseki.setsunan.ac.jp/html/200000472_ja.html

